

川口市の水道・下水道をご利用の皆様へ 上下水道局から2つのお知らせ

①物価高騰支援として、2か月（令和8年2月及び3月検針※1）分の水道料金の基本料金を無償化します

国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰支援として、公共施設を除く全口径を対象に水道料金の基本料金を無償化します（2か月分）。

なお、このたびの無償化に関するお手続きは不要です。また、上下水道局から電話や訪問をすることはありません。
※1…2月検針の場合は12月～2月検針日までの使用分、3月検針の場合は1月～3月検針日までの使用分となります。

②令和8年4月1日に水道料金・下水道使用料を改定します

上下水道事業は、運営に必要な費用の多くを税金ではなく水道料金・下水道使用料で賄っています。しかし、水の使用量の減少や資材価格の高騰等により、現在の料金・使用料のままでは上下水道施設の老朽化に伴う更新費用や維持管理費用を捻出することが難しくなっています。ご理解とご協力をお願いいたします。

改定のポイント	改定日	令和8年4月1日
	改定率	平均改定率(※2) 水道料金 26.74% 、下水道使用料 27.16% の値上げ
	基本水量撤廃	基本料金に含まれている基本水量（1か月あたり10m ³ ）を撤廃し、使用水量に応じた料金・使用料体系とします

※2…平均改定率は全体の改定率で、ご使用の口径・水量によって異なります

改定によって増加した収入は老朽化した上下水道施設の更新や耐震化工事等に使用されます。

川口市の水道事業は事業開始（着手）から約75年、下水道事業は約85年が経過しています。浄配水場やポンプ場は老朽化が進み、法定耐用年数を超えた水道管・下水道管の割合は年々増加しています。上下水道局では、老朽化した上下水道施設の更新や、耐震化のための工事を計画的に行っています。

例えば…令和6年度に実施した水道管・下水道管の更新工事

更新した水道管の長さ **14.692km**
かかった費用 約**44億6,600万円**

更新した下水道管の長さ **2.183km**
かかった費用 約**6億7,400万円**

古い管を新しい管に交換する更新工事は、断水しないよう複雑な手順で行うため、新設するよりも多くのお金と時間が必要です。



老朽化した水道管



新しい水道管

市内の水道管をすべて繋げた長さは、川口市から沖縄本島までの距離とほぼ同じです！

川口市上下水道局
キャラクター「みず太郎」



水道料金・下水道使用料改定に関するよくあるお問い合わせと回答

Q1 前回の改定(※3)から間もないのに、なぜまた改定を行う必要があるの？

水道事業・下水道事業を運営する公営企業は、健全かつ持続的に事業を運営していくため、3～5年ごとに適正な料金水準や料金改定の必要性等について検討するよう国から求められています。前回の改定以降、水の使用量の減少により、給水収益・下水道使用料収入が減収する一方で、資材価格や労務単価は上昇しています。

さらに市内で皆様が使う水道水の約9割を占める埼玉県営水道料金、市内すべての汚水を処理する埼玉県流域下水道の負担金についても値上げとなり、支出が大幅に増加しています。このようなことから、現在の料金・使用料のままでは上下水道施設の更新・維持管理費用を捻出することが困難な状況です。将来にわたり安全・安心な水道水を安定的にお届けし、衛生的な生活環境を確保するため、水道料金・下水道使用料を改定することといたしました。

※3…水道料金 (R3.1)
下水道使用料 (H28.7 H30.7 二段階改定)

川口市と埼玉県営水道・埼玉県流域下水道の関係

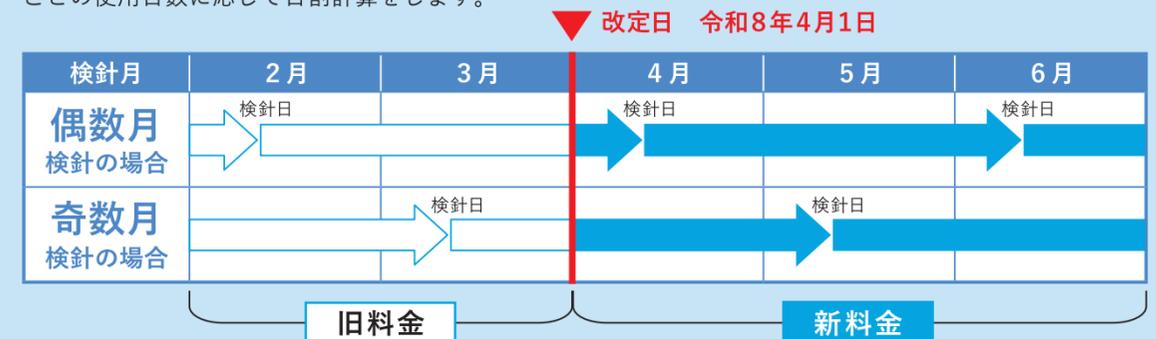


Q2 改定を行わず、他の財源で必要な費用を賄うことはできないの？

上下水道事業は、地方自治体が経営する「地方公営企業」です。事業に必要な経費は経営に伴う収入（水道料金・下水道使用料）で賄う「独立採算制」を原則としています（地方公営企業法）。税金を財源とする市の一般会計と、水道事業会計・下水道事業会計とは会計が異なります。（雨水処理に係る費用等、公費（税金）で賄われるものもあります。）

Q3 新しい料金の支払いはいつから始まるの？

改定後の料金は4月1日から適用されます。使用期間が改定日前後にまたがる場合、3月31日までの分は旧料金、4月1日以降の分は新料金が適用されます。改定日の前後で料金が異なるため、旧料金・新料金ごとの使用日数に応じて日割計算をします。



料金・使用料表、請求金額の計算方法等は中面をご確認ください▶

